

令和4年度玉城町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

玉城町では、水田地帯の一部において、麦の団地化やブロックローテーションが定着している地域もあるが、稲作への依存度が高く、生産意欲も非常に高い。また、イチゴ、花き、花苗等での施設園芸、菊、果樹等の栽培が盛んで、水稻との複合経営となっている。

農家の8割近くが第2種兼業農家であり、農業従事者の高齢化や機械施設の更新をきっかけとして担い手への集積が進みつつあるが、現在の担い手による規模拡大も労働力確保や施設投資の点から難しく、今後、兼業農家のリタイアが急速に進むことが予想される中、当町の水田農業を維持していくためには、新たな担い手の確保・育成を進めるとともに、これらの担い手の経営安定に向けて、これまでの米麦等を中心とした輪作体系に加えて、高収益作物等を取り入れた営農体系の構築を進めていくことが必要である。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

玉城町では、産地強化計画に沿ってイチゴ、キャベツ、カボチャ、青ネギの振興が進められるとともに、近年、サツマイモ、ブロッコリーも栽培面積が拡大している。

これらの高収益作物について、農家所得の向上を目指して関係機関との連携のもと、産地化・ブランド化の実現に向けた取り組みを進める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田農業の担い手等を対象に、産地強化計画の品目である露地野菜の作付を推進し、一定の成果はあるものの、価格が安定しないことや水稻等との作業時期の重複で十分な栽培管理ができず収量が安定しないことなどから、安定継続的に栽培されるまでには至っておらず、直ちに畑地化を進めることは難しいが、今後の町内農業の維持には、水稻偏重の作付体系を見直していく必要があることから、作付状況の現地確認等の機会を捉えて畑地化を検討できるは場を確認し、高収益作物の作付けが固定化している水田について、畑地化の取組を働きかけていく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需給と価格の安定を図るため、米の需要に見合った計画的生産を推進するとともに、売れる米づくりとして、担い手等の一定規模の農業者に対して業務用米品種も推進していく。

(2) 非主食用米

主食用水稻の計画的生産を行うため、湿田地帯を中心に耐倒伏性品種や多収品種による飼料用米の生産や複数年契約による安定供給、畜産農家との連携によるわら利用(耕畜連携)を推進する。

ア 飼料用米

担い手農家を中心に、米価下落の影響及び作期分散のため、複数年契約やわら利用加算を有効に活用し、面積拡大に向けて推進を継続していく。

(3) 麦、大豆

麦については、その生産性の向上を図り、担い手の収益を確保することが重要であることから、単収や作業効率の向上に向けて、団地化、土壌改良への取組を進める。

また、担い手の経営安定の観点から、大豆や高収益作物も含めた組合せによる水田の高度利用を進める。

(4) 高収益作物

産地強化計画が策定された品目や生産拡大が進んでいる野菜について、新規就農者の確保や二毛作の取組み推進も含めた面積拡大を進める。

また、花き・花木、果樹等、しめ縄用の加工用青刈り稲の産地育成に努める。

《産地強化・振興野菜》キャベツ、かぼちゃなどは、産地強化計画に基づき取組みを進めている。また、さつまいも、ブロッコリーは産地化を目指し面積拡大を進めており、今後、トウモロコシも産地化に取組みつつ定植や収穫等の省力機械化体系の導入促進により作付拡大と定着化を図る。

《いちご》特産品として定着しているが、生産者の高齢化による廃業で作付面積は減少傾向にあるため、新規就農者の確保や規模拡大、施設の改良、実需者ニーズに対応した新品種の導入等を進め、産地強化を図る。

《その他野菜》地域振興作物を除く野菜については、産直施設等での積極的な販売をめざし、消費者の需要に応じた品目の作付を展開する。

《花き等》露地栽培では菊、施設栽培においては多品目が生産されるなど花や野菜苗等積極的に取組まれており、今後も既存農家の生産性向上を支援する。

《加工用青刈り稲（しめ縄用）》町の重要な産業の一つである「しめ縄」は、農家の所得向上の一環としても活用されており、その原料となる加工用青刈り稲については、品質及び生産数量の保持を目指す。

５ 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和５年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	790.0		770.0		750.0	
備蓄米	0.0		0.0		0.0	
飼料用米	33.4		38.0		40.0	
米粉用米	0.0		0.0		0.0	
新市場開拓用米	0.0		0.0		0.0	
WCS用稲	0.0		0.0		0.0	
加工用米	0.0		0.0		0.0	
麦	148.0	6.2	143.0	1.5	152.0	2.0
大豆	6.9	0.7	10.5	9.0	12.0	10.0
飼料作物	0.0		0.0		0.0	
・ トウモロコシ	0.0		0.0		0.0	
そば	0.0		0.0		0.0	
なたね	0.0		0.0		0.0	
地力増進作物	0.0		0.0		0.0	
高収益作物	31.8	13.4	41.1	10.0	44.1	11.0
・ 野菜	29.1	13.4	38.0	10.0	41.0	11.0
・ 花き・花木	2.7		3.0		3.0	
・ 果樹	0.0		0.1		0.1	
・ その他の高収益作物	0.0		0.0		0.0	
その他	6.7		6.8		6.8	
エゴマ	0.7		0.8		1.0	
しめ縄用青刈り稲	5.4		6.0		6.5	
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	野菜	野菜等生産支援助成	作付面積の拡大	（3年度） 1,123a	（5年度） 1,300a
	果樹			0a	20a
	花き・花木			276a	320a
2	野菜	野菜等生産支援助成 （二毛作助成）	作付面積の拡大	（3年度） 9a	（5年度） 50a
	花き・花木			0a	10a
3	イチゴ	地域振興野菜支援助成 （基幹作）	作付面積の拡大	（3年度） 448a	（5年度） 550a
	サツマイモ			244a	300a
	ブロッコリー			242a	400a
	トウモロコシ				800a
3	ブロッコリー	野菜等生産支援助成 （二毛作）	作付面積の拡大	（3年度） 976a	（5年度） 1,100a
4	キャベツ	産地強化支援助成 （基幹作）	作付面積の拡大	（3年度） 337a	（5年度） 400a
	カボチャ			381a	450a
	青ネギ			138a	250a
4	キャベツ	産地強化支援助成 （二毛作）	作付面積の拡大	（3年度） 364a	（5年度） 500a
	カボチャ			0a	20a
	青ネギ			0a	30a
5	麦（基幹作）	麦団地化助成	作付面積の拡大	（3年度） 4,966a	（5年度） 6,000a
6	大豆（二毛作）	大豆の産地化 （規模拡大）助成	作付面積の拡大	（3年度） 690a	（5年度） 1,000a
7	飼料用米（耐倒伏性品種）	飼料用米生産性向上 助成	作付面積の拡大	（3年度） 2,909a	（5年度） 3,500a
8	エゴマ（基幹作）	エゴマの取組助成 （基幹作のみ）	作付面積の拡大	（3年度） 78a	（5年度） 100a
9	飼料用米	わら利用（耕畜連携）	取組面積の拡大	（3年度） 1,043a	（5年度） 1,500a
			作付面積の拡大	3,344a	4,000a
10	加工用青刈り稲（しめ縄 用）（基幹作）	加工用青刈り稲 （しめ縄用）支援助成	作付面積の拡大	（3年度） 539a	（5年度） 700a
11	小麦	小麦の収量増大に向 けた 支援【PH測定＋石灰資 材の散布】	散布面積の拡大	（3年度） 13,258a	（5年度） 13,900a
			作付面積の拡大	14,807a	15,200a
			実施率の上昇	89%	91%
			単収の改善	316kg/10a	330kg/10a
12	小麦	小麦の収量増大に向 けた支援【堆肥散布の実 施】	散布面積の拡大	（3年度） 12,673a	（5年度） 13,900a
			作付面積の拡大	14,807a	15,200a
			実施率の上昇	85%	91%
			単収の改善	316kg/10a	330kg/10a
13	飼料用米	複数年契約加算	対象面積・数量の拡大	（3年度） 2,359a	（5年度） 3,500a
				123.1t	182.7t
			作付面積・数量の拡大	3,344a	4,000a
				174.6t	208.8t

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:三重県

協議会名:玉城町農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取組要件等 ※4
1	野菜生産支援助成(基幹作)	1	5,000	野菜、果樹、花き・花木	作付面積に応じて支援
2	野菜生産支援助成(二毛作)	2	5,000	野菜、花き・花木	作付面積に応じて支援
3	地域振興野菜支援助成(基幹作)	1	12,000	イチゴ、サツマイモ、ブロッコリー、トウモロコシ	作付面積に応じて支援
3	地域振興野菜支援助成(二毛作)	2	12,000	ブロッコリー	作付面積に応じて支援
4	産地強化支援助成(基幹作)【10a以上で面積拡大した場合】	1	2,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ	作付面積に応じて支援
4	産地強化支援助成(基幹作)【10a以上で面積拡大しなかった場合】	1	7,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ	作付面積に応じて支援
4	産地強化支援助成(基幹作)【10a未満の場合】	1	12,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ	作付面積に応じて支援
4	産地強化支援助成(二毛作)【10a以上で面積拡大した場合】	2	2,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ	作付面積に応じて支援
4	産地強化支援助成(二毛作)【10a以上で面積拡大しなかった場合】	2	7,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ	作付面積に応じて支援
4	産地強化支援助成(二毛作)【10a未満の場合】	2	12,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ	作付面積に応じて支援
5	麦団地化支援	1	5,000	麦(基幹作)	団地化面積に応じて支援
6	大豆二毛作支援(麦あと)	2	7,000	大豆(二毛作)	作付面積に応じて支援
7	飼料用米生産性向上助成	1	650円/60kg	飼料用米(耐倒伏性品種)	出荷数量に応じて支援
8	エゴマ取組助成	1	0	エゴマ(基幹作)	作付面積に応じて支援
9	わら利用(耕畜連携)	3	10,000	飼料用米	取組面積に応じて支援
10	加工用青刈り稲(しめ縄用)支援助成	1	13,000	加工用青刈り稲(しめ縄用)(基幹作)	作付面積に応じて支援
11	小麦の収量増大に向けた支援【PH測定＋石灰資材の散布】	1	1,000	小麦	取組面積に応じて支援
12	小麦の収量増大に向けた支援【堆肥散布の実施】	1	1,000	小麦	取組面積に応じて支援
13	複数年契約加算	1	6,000	飼料用米	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。